

区施設の再利用計画について

【新宿区における施設の現状】

区では、200を超える施設を所有しており、この維持管理のために平成15年度では、約90億円の費用を支出しました。区有施設をこのまま維持していただけても、大規模修繕費などで、今後膨大な費用がかかることが予測されます。

こうした財政上の課題がある一方で、最近では新たな施設需要も生まれているため、区有施設を効率的・効果的に活用し、新たな需要への対応と、施設経費の抑制の両立が図られるように取り組んでいます。

【施設廃止後の施設（跡施設）活用の考え方】

区有施設を廃止した場合には、次のような手順で活用を検討します。

- ① 地域において新たな需要が認められる場合
- ② 上記①以外の場合は、財源確保のため貸付けを行う。ただし、財源確保のために活用する場合でも、できる限り区民の生活や福祉に資するよう、地域活動を行う NPO 支援のための活用等も視野に入れて検討する。

【空き施設、跡施設について】

四谷第三小学校（平成19年4月跡地）

駅前に立地するという土地利用の高いポテンシャルを十分に活かし、再開発などのまちづくり事業を通して地域貢献できる活用を考えています。

四谷第四小学校（平成19年4月跡地）

地域のコミュニティづくりの中心として、子どもも大人も共に集う広場として、住民参加や協働により運営されるコミュニティのモデル事業として活用することを検討します。

東戸山中学校（現在 新宿中学校校舎 平成20年4月新校舎へ移転）

福祉などの地域サービス施設として活用することを基本に検討します。社会福祉法人などへの貸付を想定しています。

戸山中学校（現在 西早稲田中学校校舎 平成20年4月新校舎へ移転）

跡地活用への検討をすすめていきます。

四谷小売市場

「小売市場」としては廃止し、商業サービス業等の業務施設として活用します。

西落合ことぶき館・落合社会教育会館

地域センターへ機能統合した後は、「子どものための施設」として活用するとともに、地域との交流スペースも確保する方向で検討します。

旧薬王寺保育園（跡地）

跡地活用への検討をすすめていきます。

新宿第一保育園（平成18年3月廃止予定）

跡地活用への検討をすすめていきます。

新宿区の小・中学校の配置図（学校適正配置ビジョンの冊子から一部抜粋のため省略）